

横笛をつくる（江平遺跡の笛を復元）

1 材料と道具

（1）材料

・女竹：メダケ（オナゴダケ）

4～5年ものを炭火であぶって油抜きをし、2年程乾燥させたもの

（2）道具

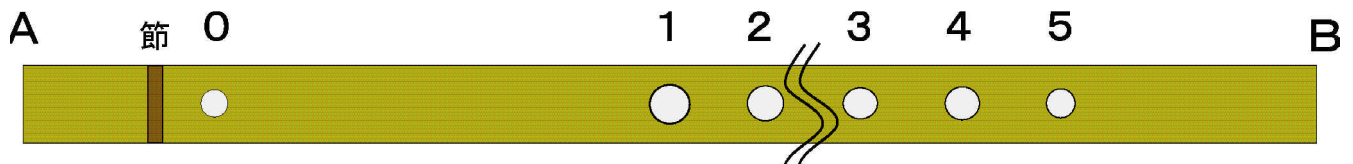
・ネズミ歯錐、小刀、紙やすり、箸



2 作り方

（1）設計図

今回は、江平遺跡出土品を5指孔として復元します。（6指孔以上だった可能性もあります。）



全長：340mm（Aから節中心まで33mm） 太さ：20mm

Aからと（0～2）Bからの（3～5）孔の中心までの距離

0：50mm 1：170mm 2：195mm

3：120mm 4：93mm 5：66mm

孔の大きさ 0：径6mm 1～5：径8mm 前後で横方向が若干長い楕円

材料の竹は、節とその上の部分を用います。

孔は、竹の表側（節の枝の生えた部分の反対側）に開けます。

（2）孔を開ける

- ・竹の表側に引いた直線上に、孔の中心の印を入れます。
- ・ネズミ歯錐（0が6mm、他は7.5mm）で孔を開けます。

（3）孔の整形

- ・小刀で孔の大きさを設計図通り削ります。
- ・箸先に紙やすりを巻いて、孔を丁寧に仕上げます。

（4）内面の掃除

- ・棒に包帯などを巻いて、中のゴミを取り除いて完成です。

横笛の作り方など詳しい情報は、「横笛研究会」のホームページに掲載されています。

URL <http://www.asahi-net.or.jp/~dl1s-ymgc/>